

2021年11月1日



月刊

もぐら通信

2024年11月1日 第145号 初版

<http://abekobosplace.blogspot.jp>

あなたへ：
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地に届きます

電話

042-ABE-KOBO

FAX

042-KOBO-ABE

もぐら通信を自由にあなたの《友達》に配付して下さい



目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩（30）：孤独より 其の四：安部公房.....page 19
- 4 周辺飛行（54）：4。『安部公房スタジオ会員通信』（10）：第10号：岩田英哉...page 20
- 5 『文章読本』論（9）：丸谷才一：岩田英哉.....page 26
- 6 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉...page
- 7 ネット・モナド論（21）：7.4.6 催眠術とプロパガンダ：岩田英哉...page
- 8 私の本棚（39）：井尻千夫著『玩物喪志』を読む：岩田英哉...page
- 9 *Mole Hole Letter*（68）：超越論 II（第十一回）：岩田英哉...page 37
- 10 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（25）：5.18「蟲めぐる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてみるか：岩田英哉...page 42
- 12 Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（12）：扇：岩田英哉... page
- 13 編集後記...page 46
- 14 編集方針.....page 47



The best tweets of the month



あんず餅@Anzumochikamo・Oct 9
ちなみに僕は安部公房の書くエロスが好きです



rahiro@r4h1r0m・Oct 8
最近スーパーフラットのなものから離れていたせいもあって、2次元絵を見ると何故か安部公房の赤い繭を想起してしまう...

The worst tweet of the month

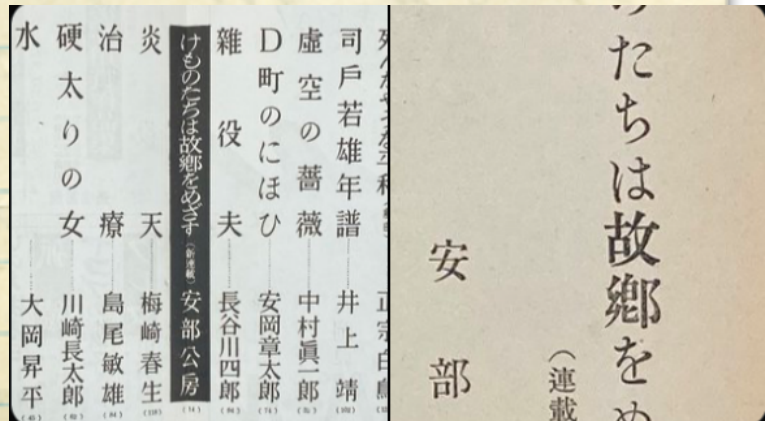
なっぼにうむ@ykt_69・Oct 10
図書館、安部公房全然なくてびっくりした

アジアの中心 ジャアク商会のツイート@JYAAKUsyndicate・Oct 7
安部公房の作品を読んだことがあるどころか、その名前を知っている人にさえ出会うことがなくなった。まあ古本屋に行っても並んでいることがまずないからねえ.....

今月の群像

群像@gunzo_henshubu・4h
創刊75周年記念企画
〈#群像掲載の名作たち〉

23.安部公房
「けものたちは故郷をめざす」
1957年1月号 連載開始



今月の全集未収録

ホッタタカシ@t_hotta・Oct 8

第9位

【安部公房が選んだ1958年度映画ベスト・テン（全集未収録）】
（2015年12月）

いきなりキネ旬ベスト・テンのネタがふたつ並んでしまいました。

#星虹堂通信



今月の旭川安部公房の会

柴田望10月24日#KSJ北海道大会エントリー受付中

Sparkles@NOGUCHIS7・Oct 8

<https://hyouten.com/oshirase/11292.html>...

【行事案内】2021年10月16日（土）14時より、[氷点カレッジ] 文学講座「旭川と安部公房」（東鷹栖安部公房の会）を配信します。

今月のコーボージョ（公房女子愛読者）

弾 三郎@36_dan0925・Oct 12

同期入社の子が安部公房ファンで特に『壁』と

『S・カルマ氏の犯罪』を絶賛していました

彼女は安部公房を読まない男とは付き合えないと

豪語し同期の男数名（わたしは除く）が翌日書店に駆け込んだのを覚えています

Grinning face with smiling eyes



今月の読書会

紅茶と文学@teabook_photo・Oct 5

死ぬほど遅くなりましたが、9/12に行った「砂の女」読書会のレポートをアップしました...Rolling on the floor laughing

安部公房もノーベル文学賞の候補に上がってたんですね～。

<https://tea-books.com/history2/h30/>

次回読書会は10月末あたりを予定しています。

#読書会 #ノーベル文学賞



Takashi Mogi@BeerlaoBeerlao·Oct 8

安部公房『箱男』考察ネタバレ | 「箱=匿名性」に囚われた人間の欲望と罠の不条理世界を読み解く | 読書空間Z https://motarasu.jp/literature/48_theboxman/

... @umaigosより

(不条理世界へようこそ.....)

もりさき@manzanaranjapon·16h

Replying to @Tori_Corleone

そうですSmiling face with smiling eyes

気づいてただけて嬉しいですBeating

heart原作も映画もどちらも大好きな作品

ですRed heart



好村 滋行@shigekomura·Oct 6

隔離14日目 今日シャワーを浴びながら、ふと安部公房の「砂の女」に出てくる仁木順平のことを思い出しました。女が搬送されたあと、外に出るための縄梯子がそのままになっていたにも関わらず、彼は脱走しませんでした。私も一週間後にまだこのホテルに留まりたいと思うのかもしれませんが。怖っFace

screaming in fear

今月の砂の女

SHIN_episode666@しばらく予定なし@episode66·Oct 8

自宅の本棚を漁ってたら読みたいと思ってた砂の女が出てきた。内容は覚えてないからまた読みます。隣に壁もありました。箱男は無かった。

#安部公房 #読書の秋

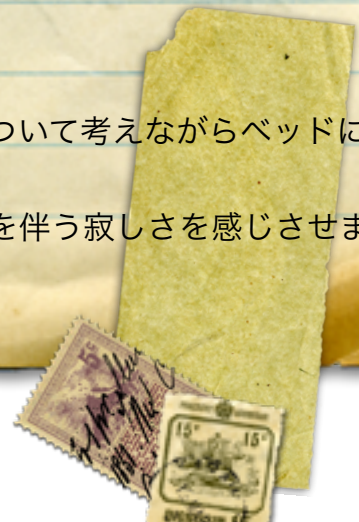
今月のカンガルー・ノート

甚だ夜に@hanahadayoruni·Oct 8

安部公房「カンガルー・ノート」

すねにカイワレが生えた男が、カンガルー・ノートについて考えながらベッドに乗り夢から夢へ渡りゆく話。

筋の通った支離滅裂。時々、妙に胸に刺さり懐かしさを伴う寂しさを感じさせます。すごく良かったです。



安部公房の遺作(厳密にはもう一つある)みたいですね。

Blue book水石鉄二 (読書と文学) @TetsujiMizuishi・Oct 10

安部公房『カンガルー・ノート』KangarooOpen book

Four leaf cloverFour leaf cloverFour leaf cloverFour leaf clover
ShowerSyringeHochoJapanese ogreDrop of blood
.....大体このような話でしたっけ？

そもそも、カイワレ大根の絵文字が無いのですが。

Open book安部公房『カンガルー・ノート』を読む

<https://note.com/tetsujimizuishi/n/nf13ba5a30240>

フレ@radiotube・Oct 7

カンガルー・ノートを読んでる

安部公房ってピンク・フロイド好きだったんだな

ロジャー・ウォータースが抜けてからのアルバムはなんとなく聴いてないなあ
外野からすれば、いい加減仲直りすればいいのにとってしまう

茅野ほづみ@kayano_hodumi・14h

何はともあれ、中々の濃ゆいラインナップのような？w(*艸`)www

旦那さんが安部公房読んではと言ったので、「カイワレ大根生えてくるやつなら
読んだことありますよ!」「それは『カンガルー・ノート』ですね」「そう!
それ」てな感じで話盛り上がったww(*艸`)ありがとう某Uさんw

今月の共感

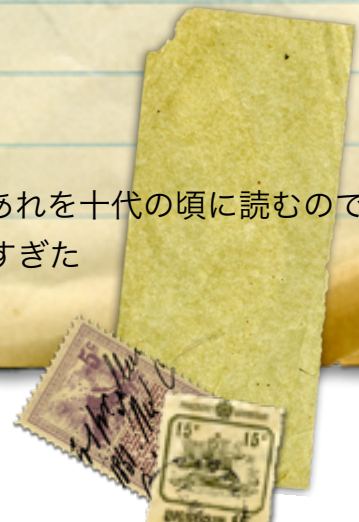
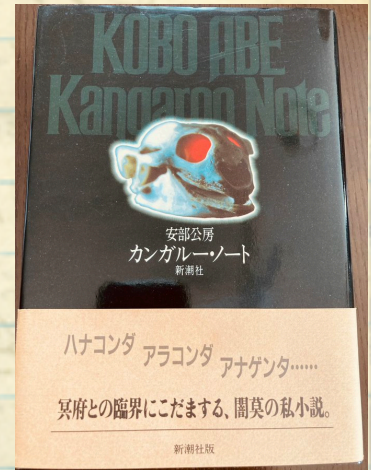
くろがまさつね@kuroga_m・Oct 10

安部公房にはもっと長生きしてほしいかった.....と言うか今も生きていてほしい
かった。そして"死に急ぐ鯨たち2"を出して欲しかった

今月の密会

マミ@mami_rabi・5h

綿ふき病って聞くと安部公房の「密会」を思い出す。あれを十代の頃に読むので
はなかったと後悔している...その頃の私が読むには早すぎた



今月の密会

婦人警官@yattane_kaechan・Oct 11

【密会 (新潮文庫)/安部 公房】を読んだ本に追加 → [#bookmeter](https://bookmeter.com/books/557153)

今月の連想

さだわ@sadawadayo・15h

なぜ芥川龍之介と安部公房かというと、小中高の教科書読んで文章に感動して圧倒されたのがその2人だったなあと連想的に思い出したから

今月の寺山修司

Gel@monde_du_jouet・Oct 8

寺山修司 安部公房に似てるよなーと思ってたけど、最近赤い繭を読み返したら主人公の男が地球空洞説と似たような家のなくしかたしてた。

今月の棒になった男

文化放送 F M 9 1 . 6 & A M 1 1 3 4@joqrpr-23h

1956年放送のドラマ「犯人は誰だ」と1957年放送のドラマ「棒になった男」の台本です。「棒になった男」は当時の音源を聞いてみましたがなかなか凄い内容でした。今はラジオドラマといえば「青山二丁目劇場」です！月 20:30～放送中！

#70bunka #青山二丁目劇場 #安部公房



松元大地 (電子書籍作家 / Webアプリエンジニア) @LineTodo・Oct 5

私に「必要十分」の概念を教えたのは数学の講義でも教科書でもなく、安部公房の短編『棒』であった。私はこの短編に意味を求めることにあまり意味はないと考えていて、「必要十分」の概念を小話にただけで、それ以上のものはないと思っている。(著者がメタ的に示しているが)

今月の安部真知

Π-2島@寝具評論家@i_slep2·Oct 7

本日、我が家の安部公房初版本に『闖入者』をお迎えし、青木書店「創作劇集」と合わせて2冊に。両方ともりんてん舎で入手。

決め手の安部真知の扉絵は今まで見てきた真知絵の中で最初期のものと思われ、大きめに書かれた「M.A.」のサインはまだこなれていない駆け出しの感じが出ている。とても良い。



今月の性への目覚め

K.Omura@wampack·Oct 5

性への覚醒めは、小学6年での深夜映画でやっていた『あの胸にもういちど』、中学1年での『燃えつきた地図』、高校1年での『les54321』。つまりは、マリアンヌ・フェイスフルと安部公房とサリー久保田。まだ卒業できません。



今月の箱男

聖学院中学校高等学校図書館@library_seig·Oct 6

『箱男』安部公房：著
かぶってはみたものの...



sota@soo13069·Oct 11

RT 押してくるやんw 安部公房先生も箱男書いてた。—誰でもないということは誰でもありうるということだろう Alice In Chains - Man in the Box (Official Video)

<https://www.youtube.com/watch?v=TAqZb52sgpU&feature=youtu.be>

みいこ@もんこはんR@konechan1·Oct 9

ドグラマグラが漫画で読破バージョンあるんなら

箱男を漫画で読破させてください

密会はエログロ極まるので怖いけど漫画見てみたい

しかし 安部公房氏作品は確か遺族によって今後の映像化禁止されてるんだよね

アカイロノナメクジ@akairononameku·Oct 4

macaroomのアサヒさんが安部公房めっちゃ推してるから、何冊か読んでみたんだけど、気がついたら安部公房中心の生活になりかけてた。特に箱男は自分の中の小説の概念が破壊されて衝撃的だった。

なみ「ああ〜一生の音オ〜！！」@KaraMieru·Oct 5

安部公房好きなんだけど箱男とかはマジでわからなくて体力が必要...読めてない...

20世紀の文学bot@20C_Literature·Oct 5

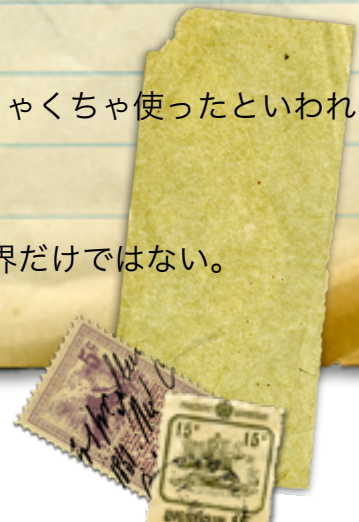
彼女が、もし、本気でぼくを知りつくそうとしてくれるなら.....昨夜、臍箱男に見せたような姿勢で、ぼくを受止めてくれるつもりなら.....たしかにもう箱なんかなくてもいい。隠す醜さを持たない人間には、他人の醜さだって見えないはずだろう。『箱男』安部公房

吉行ゆきのFairy変態文学大学生@onitannbi·Oct 7

【覗いたのは性愛か地獄か。名作「のぞき小説」】

連載第5回は、芥川賞作家・開高健氏が自家発電にめちゃくちゃ使ったといわれる暗黒小説『地獄』.....

壁の穴を覗いた先にあったのは、めくるめく官能の世界だけではない。



人間存在の孤独に迫る傑作のレビュー、読んでねWomen with bunny ears

<https://tree-novel.com/sp/works/episode/359c8a4269b4ff24d7b8258ba2046034.html>

Takashi Mogi@BeerlaoBeerlao·Oct 8

安部公房『箱男』考察ネタバレ | 「箱=匿名性」
囚われた人間の欲望と罫の不条理世界を読み解く
読書空間Z <https://motarasu.jp/literature/48> theb



覗いたのは性愛か地獄か。名作「のぞき小説」はエロくてヤバくて面白い。

文字数 918文字



祁門(キーマン)_23回目の内省@profetbird23·Oct 8

私は安部公房の「箱男」から覗くという行為に興味を持ちました。
地獄...いったい何が広がっているんだ

今月のノーベル文学賞

ラブサイ@bonryaku·Oct 7

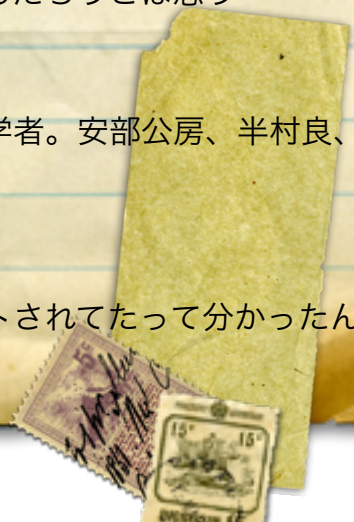
「大江は安部公房が亡くなったから代役でノーベル文学賞を取れた」的な話を文学部ではよく聞いて、まあそれは一面確かかも知れんけど、大江健三郎程に世界で評価される日本国籍の作家も現状いないし、(まだ存命なこと考えても)あそこで受賞しなくても、どこかのタイミングで受賞してるだろうとは思う

おなかヒエル@onakahieru·Oct 7

ノーベル文学賞を取ってもおかしくなかった日本の文学者。安部公房、半村良、古井由吉、この三人かなあ。

金が一番大事@おちんちん@kanegadaiji928·Oct 7

だいたい安部公房ですら死んだ後にノーベルノミネートされてたって分かったんだから村上春樹は取れないよw



Ichiro W.@lchrw·Oct 7

ノーベル文学賞、安部公房にも取っていて欲しかったな、と思う

ナシ・アジフ@nulangif·Oct 7

すまねえ.....村上春樹.....安部公房.....！

おめえらと.....ノーベル文学賞レースしたかった.....！

KAWAGOE KOEDO 📖 ペン字勉強中 Nib@KukuKukunio·Oct 8

おもしろかったのは初期3部作くらいであとはあんまりSmiling face with open mouth and cold sweat 芸術性に優れてる訳でもないしね。

実際はノミネートすらされてないではないかいSmiling face with sunglasses

それよりも故人にも受賞出来るようにすりゃあ良いのにGrinning face with

smiling eyes 安部公房なんか確実でしょ

Quote Tweet

時事ドットコム（時事通信ニュース）@jijicom·Oct 7

【速報】

ノーベル文学賞で、期待された村上春樹氏ら日本人への授賞は今年もなかった

<https://jiji.com>

Show this thread

二胡と遊ぼう office SOMEIRO. moralよりEthicaSmiling face with open

mouth@office_someiro·Oct 5

安部公房への授賞を取り逃がしたノーベル文学賞はおらにとっては重要度は高くない。その程度のものだ。

今月のブックカバー

Qe@_Qe1999·Oct 10

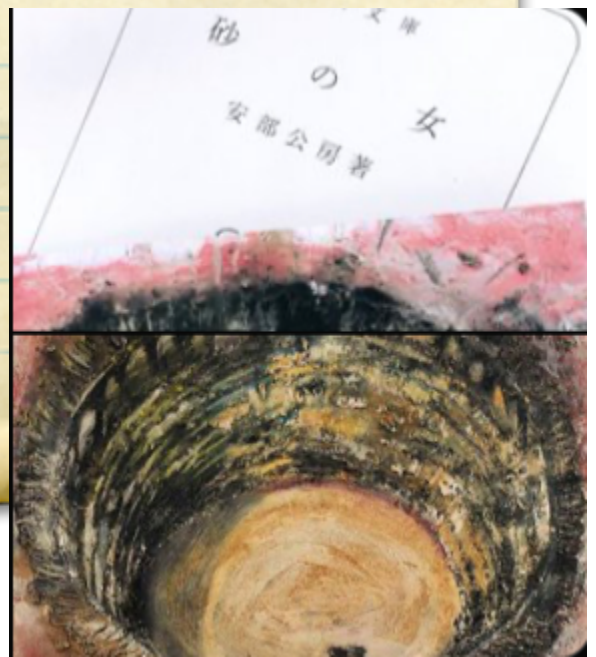
美術館に売られてるポストカードを

拡大コピーしてブックカバーにするのが

最近の趣味なんだけどミケル・バルセロの

「とどめの一突き」と安部公房の「砂の女」

が親和性高くてよかった。



今月の怠惰な読者

淡々ロッキー@tantanto69・Oct 10

何が欲しいとか物欲はそんなに無いが、読みそびれてる本は全部欲しい！だが、全部読める保証がない（笑）

安部公房全集も好きなところだけで、飛ばしてるしなDroplet

Π-2島@寝具評論家@i_slep2・Oct 7

でもスクリプトならもっと目的を持ってよ、とも思う。

安部公房の読書会に出る以外で。

以上、ノーベル文学賞発表に先立つ一連の安部公房ツイート。

今月の微笑

素クール_bot@su_cool・Oct 8

わたしがいつも微笑んでいるのは安部公房の著書『壁』の中にある『バベルの塔の狸』で“微笑はどんな視線に対しても鉄の防壁となるのだ”という著述があったからだ。決して君のためではないぞ。

今月のS・カルマ氏

ハンク@Hank_TRPG・Oct 7

昨日の夜中にふと読みたくなって安部公房の「壁」を読み直し始めたんだけど、やっぱめっちゃ面白いね

ああいう気持ち悪い不条理感のあるシナリオ書きたいと思うんだけど、どうやったら生還クリアできるのか作者が聞きたいよってなりそうな気がする

今月の天敵

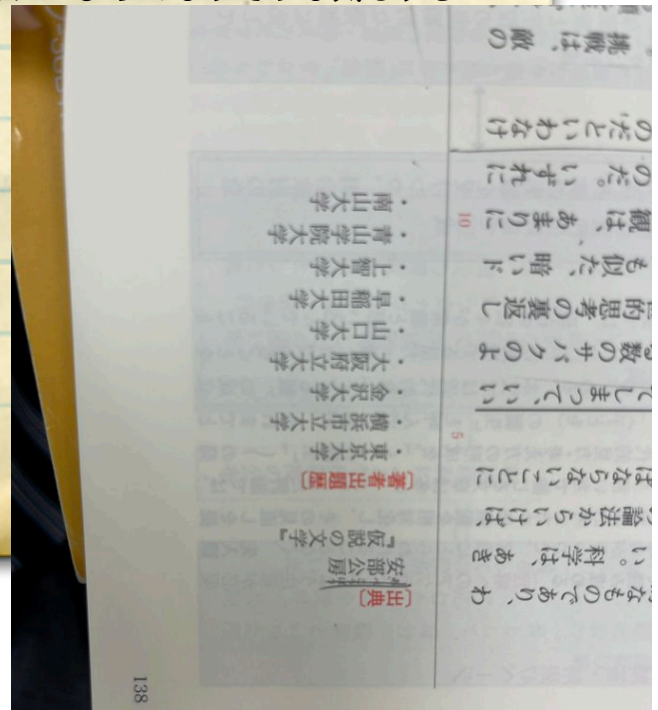
MiRai/超たまにリプ飛@mirai_p51995823

・Oct 4

安部公房さんの文章難しすぎる。相性的にもこの傾向の著者の問題が本番で来てしまったら大分キツイ...

安部公房、竹西寛子

この2人は天敵かな〜...。



今月の闖入者と筒井康隆

羽@twh_512・Oct 12

ただ『闖入者』どこで読んだのか記憶がないんだよな...安部公房だし高校の選択授業だったけな？

選択授業で読んだ半分くらいはめっちゃくちゃ刺さって良かったんだよな～
未だにパプリカは理解の範囲を超えているけど

今月の小説を生む発想

お座敷テクノ@ozashikitechno・Oct 8

安部公房 小説を生む発想 - 「箱男」について

新潮カセット講演 1993年10月発行

<https://youtube.com/playlist?list=PLELmlA4ehKhawH78XrU62VUS7KWGqpWJj>

今月の藤野君

飯テロ小説bot@nuenonamae・Oct 10

親指ほどの太さもある、チョコレート・キャンディだった。つまり、容器にふさわし内容だったわけである。藤野君は、赤い大きな舌を出して、そのチョコレートの棒をしゃぶりはじめる。ひと舐めごとに、息を入れ、ゆっくり時間をかけて、しゃぶりはじめる。

安部公房「藤野君のこと」

今月の飛ぶ男

aki@_aki_a2・Oct 5

えー！今まで、教科書に載っていた結末しか知らなかった！それが好きで作品も作ったし。

「空飛ぶ男」（安部公房著作）の結末が2通りある話 | 喜久 @yoshimako11221

<https://note.com/yoshihisanote/n/nc678a2ad196b>



「空飛ぶ男」（安部公房著作）の結末が2通りある話 | 喜久 @yoshimako11221

<https://note.com/yoshihisanote/n/nc678a2ad196b>

今月のマニアック

廣瀬 雄太 | paclaデザイナー | ALL YOURS製品開発・製造責任者

@tameiki_tw-21h

Replying to

@kihanasyugo

なるほど！

食べる以外にも言うのか、、、！

2

Red circleアートWristwatchby syugo@kihanasyugo-21h

あ、吸いさし、書きさし？は知りませんが、

安部公房の小説には飲みさしは出てきてましたね

今月の講演会

宮城学院女子大学@miyagaku_pr-Oct 11

【2021年度第4回人文社会科学研究所新所員研究会のお知らせ】

テーマ：昭和30年前後の安部公房テキストにおける「食」の問題—作品集『R62号の発明』から—

日時：10/25（月）16:20～17:50

申込：EmailまたはFAX

申込締切：10/22（金）12:00

詳細：<https://news.mgu.ac.jp/educations/event/2037.html>

今月の友達

YurieSunflowerSunflowerぽん@Yurie845Yper-Oct 9

待て、今さら気づいたけど安部公房の『友達』って

2015若葉総合の『首飾り』の原作じゃん……………え、

いま気づいたの私アホなん……………??? (伝わらない)

2021年度第4回人文社会科学研究所新所員研究会

昭和30年前後の安部公房テキストにおける「食」の問題
—作品集『R62号の発明』から—

日時：2021年10月25日（月）16:20～17:50

報告者：千葉 幸一郎教授【日本文学科】

場所：宮城学院女子大学講義館4階C401

参加申込方法

テーマに興味を持たれた方は、どなたでも参加できます。
参加をご希望の方は、氏名、所属、連絡先（Email/TEL）をご記入の上、
10/22（金）12:00までにEmailまたはFAXにて下記までお申し込みください。
新型コロナウイルス感染状況により、開催形式が変更になりますことをご了承ください。
変更に関しましては、申込時に頂いたご連絡先にご連絡いたします。

人文社会科学研究所FAX 022-277-6210
E-mail アドレス jinsha@mgu.ac.jp



今月の山口果林

有閑無是@AlkanMuze・Oct 5

ひと眠りして読書。『安部公房とわたし』(山口果林著)は読了。「エピローグ」に、「知られていない安部公房像を書き残すべきかもしれない。山口果林の自分史を書く形なら、許されるかもしれないと思い始めた」とある。「私自身のために踏み切った」と。

今月の榎本武揚

剣菱唯子@sanbun_chan・Oct 4

安部公房の「榎本武揚」が史実であってたまるかよw

でも榎本を主演に扱った最初の作品？だから、よく知らない人は勘違いするかも。現代人はせめてWikipediaくらいみる。ソース不明なものもあるが、小説よりは真実に近い

まもと@onsammm・Oct 5

資料から推察される榎本はおよそああいった嘘はつけない人だからこそ安部公房はあれを書いたのではという根拠のない妄想すらあるよ。

今月のグレン・グールド

有閑無是@AlkanMuze・Oct 5

第五章に、「晩年、カナダの放送局から安部公房に『グレン・グールドを記念した番組』インタビューの打診があった」とあり、グールドが作ったラジオドラマの録音風景のドキュメントテープを二人で見たそう。 「グールドの感性和安部公房の感性はどこか似ていると思う」と著者は書いている。

今月のミステリー・ベスト5

綾辻行人@ayatsujiyukito・Oct 7

さて。

10月7日はエドガー・アラン・ポウの忌日→ミステリー記念日、ということで、昨年と同様のお題を。

みなさんの「マイ・ベスト・ミステリー」は何？ 古今東西合わせて、今回は5作までどうぞ。当然のことながら、気を遣って綾辻作品を挙げてくださらなくても大丈夫、ね。

#ミステリー記念日

TVマンユニオンSyringeSyringe@tsutigumo1998・Oct 7

『秘祭』石原慎太郎

『龍神池の小さな死体』梶龍雄

『十角館の殺人』綾辻行人

『湖底のまつり』泡坂妻夫

『石の眼』安部公房

#マイ・ベスト・ミステリーを5作

今月の壁

KH@KH69819664・Oct 6

安部公房の『壁』の名刺が自分と入れ替わるというのは、生身の自分よりアカウントやアバターや「濃密な私」としてのスマホなどが価値を持ち始めた現代を予見していたようで興味深い。

第144号訂正

第144号（第二版）のダウンロードは：

<https://www.scribd.com/document/532047059/%E7%AC%AC%EF%BC%91%EF%BC%94%EF%BC%94%E5%8F%B7-%E7%AC%AC%E4%BA%8C%E7%89%88>

P27：上から9行目

訂正前：未知

訂正後：道

P36：第一段落

訂正前：頂点の下にして

訂正後：頂点を下にして

(*) いつもの docroid.comではなく、scribd.comを使いました。もし不具合があれば、ご連絡下さい。メールアドレスは eiya.iwata@gmail.com

もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

- (1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）
- (2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）
- (*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

- (1) 安部公房の読者
- (2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。
- (3) 年齢：不問
- (4) 性別：不問
- (5) 国籍：不問
- (6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。
- (7) 提出文書のフォーマット：pdf
- (8) かな・漢字：新旧字体不問

6. 応募名：

- (1) 本名を名乗つてはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗つてはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

6。応募名：

- (1) 本名を名乗ってはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗ってはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7。選考委員：

- (1) もぐら通信の全ての読者
- (2) 国内外の読者を問はない。

8。作品の公表：

- (1) 編集部には到着後都度読者に配信します
- (2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9。評価方法・評価基準：

- (1) 安部公房の同社としての選考委員の独自の判定基準に委ねる
- (2) 採点の範囲は、1点から10点まで
- (3) 最終的な判定は、もぐら通信編集部及び発行人が各作品に下す

10。評価・選考のためのネット選考会月次開催

応募のあつた月のみ開催します。これは都度案内します

11。賞金：10万円

- (1) 一等賞：受賞者一名
- (2) 最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12。将来の展望：

- (1) ノーベル文学賞の日本円換算1億円以上にします
- (2) ゆくゆくは、詩部門・戯曲部門・写真部門・音楽部門を併設し、安部公房文学の性格に相応しいジャンル横断の総合的な文学賞にしたい

以上

巻頭詩
(30)

孤独より
其の四

安部公房

其の四

白樺の枝二つ三つ

手折りて童

笛を作りぬ

遙かなる想ひの如く

しのびよる夕と風に

その心 重かりき

その故か その心

あまた憧れの音にみちたれど

笛は鳴らざる

風よりもなほ微かにて



周辺飛行

(54)

4. 『安部公房スタジオ会員通信』 (10)

第10号

安部公房スタジオ・会員通信

No.10

1980. 7. 1

〒150 東京都渋谷区宇田川町19-5 山手マンション地下
TEL 03-461-0864

- 1 -

— 通信 —

安部公房

いまスタジオは、やや長めの冬眠期に入っている。しかしこの四月には七人もの新人が仲間入りしたし、その新人を中心に、連日きびしい肉体訓練が行われている。臨界点に向かってじわじわとエネルギーが蓄積されていくのが、肌で感じられるほどだ。

ほくの新しい小説「志願囚人」は、まだめどがついたと言えるほどではないが、折り返し地点は調子よく通過したつもりだ。いつも小説のこのあたりから、次の舞台の計画が芽をふきはじめるのだが、なぜか今回はまだその感触がない。もしかすると、これまでとはまったく違った舞台なので、すでに出ている芽をそれと確認できないでいるだけなのだろうか。

そんな気もする。ばくぜんとした予感だけはあ

- 2 -



るのだ。スタジオがこの長い冬眠からさめる時、
 なにか驚くべきものに変身しているはずである。
 ガイドブックシリーズ全体を乗り越えた、まったく
 新しい舞台空間を世に問うことが出来るにちが
 いがない。その予感を、はっきり言葉にして言える
 のも、いずれ時間の問題だという気がしている。

五月十日

新人紹介

本年度は7名のスタジ
 才研究生が誕生しまし
 た。乞うご期待！



鈴木道生

桐明学園短大演劇専攻科卒21才



梅須賀隆文

劇団青俳専科卒23才



松山秀生

桐明学園短大演劇専攻科卒23才



八幡幸恵

立教大学文学部仏文科卒22才



守田さなえ

東放学園放送学科声優専科卒24才



本間章子

桐朋学園短大演劇専攻科卒21才



黒田文子

桐朋学園短大演劇専攻科卒22才

オル

視点

その一 河野竜夫(舞台照明家)

「劇場にて……」

「石ッ！もう少しだナ、うん、もう少しだよ。」
安部先生が私に近づいて声を掛けてくれる。二
日目の舞台稽古の終わった後である。

私は昨夜ほとんど眠れなかった頭で、もう一度、
今の舞台を再現してみる。

光の強弱か、色の濃淡か、タッチの光線の
角度なのか、分量か、それとも景と景をつなぐ明
りの文化のスピードか、ライトイン、ライトアウト
のタイミングか、俳優や音楽との連携ブレーの
まずりか。

さ、さまで音楽や色彩が舞台に息づき、俳優の
肉体が躍動し、物体が空中に飛び、静止して、客
席の暗やみを安部先生がクマの如くに動き廻り、
インターフォンの声がかめくり劇場全体が生き
物であったのに、今は舞台は地明りに照し出され、
空っぽになった客席は廃墟となり、私は死体のよ
うに椅子にうもれて、いつも舞台稽古になると痛

み出す左の奥歯をか、えて途方にくれ、冷たくなつたインスタントコーヒーをす、り、
 「もう少しか、これが大変なんだよなあー何処をどう変えるべきか？、又々変ざるべきか？」
 全くハムレットの心境である。
 舞台では、安部先生が俳優にダメを出し、適切な指示を与え、大道具・小道具の直しの注文を出し、御自分で作曲された音楽の録音を、徹夜でやり直しをする段取りを取り、その後、さつきまでのさびしい顔は何処へやら、笑顔で制作者と打合せをしておられるのである。
 あの一瞬の笑顔を見せられると、皆どうしても最後の力をふり絞ってゴールに走り込まねばと云う気持ちにさせられてしまう。
 六ヶ月間も続いたスタジオでの稽古につき稽古すべての準備、劇場での舞台装置がかざられ、本番用の衣裳をつけた俳優、スタッフも全員そろい、戦争のような舞台稽古の三日間、この修羅場をくぐり抜けて、やがて、初日の幕上がるのである。

(つづく)

一年を振り返って

綾城 明
 大塚 洋



——去年の三月、僕達がスタジオに入った時は、「仔象は死んだ」の稽古の真最中。それも最後の追い込み状態。そんな緊張感いっぱいの中に突然放り込まれて……

——それでも兎に角二ヵ月後には米国で初舞台を踏んでいたんだから……。あの時の事は一生忘れないなあ。

——セントルイスで岩浅さんが足にケガをして、ワシントン（二番目の公演地）から、彼の役の一部を僕達がやるようになって

——そう言えばホテルに戻っても、暇があれば二点倒立の練習をしたり、



大塚 洋

本番で失敗したらどうしようって、お互い顔をひきつらせていたわ。そう、回りのみんなも心配そうに僕達を見るし、又それを見ると余計不安になつたり……。

「仔象……」が完成する迄は五年以上の年月が、かかった訳だし僕達が参加したのはその最後の二ヶ月間だったので、何を演ってもそれが的確なイメージとして表現できているか不安だった。それでも何とか舞台を成立させなくちゃならないし、それには「ヨシ、出来るぞ」とどう自信みたいなモノが必要で、これは矢張り基本的な稽古の繰り返しからしか生まれてこないものだし……、そう云う意味では、僕達の場合初めに宝戦がきて、順序が逆になってしまったんだけど……。今みたいな公演のない時期をどう過ごすかが、問題なんだね。

〈役者の横顔〉その2

山口果林

「セロリの葉っぱは佃煮にするとおいしいのよ」と話す彼女に、その辺りから話を煮つめてみればおもしろい味が出るのではと、料理から発展させたイメージで原稿を依頼したところ……。



「案内人」恋人

稽古場ではいつもめまいの連続です。次から次へ新しい台本が手渡されるからです。隠し台本です。でも隠し台本だと思っていたものが本物だったりすることもあって、全く油断ができません。「案内人」の時もそうでした。一つの隠し台本はこんな具合です。いくつかのセリフが続いて、途



- 11 - 「水中都市」飛娘

中でぶっつりと切れています。あとにはアドリアの指示だけが書かれていました。「恋人」は誘惑と拒絶を繰り返して、「A」を幻惑していく。「A」は指導することを忘れ、本気でゲームに熱中していく。

エネルギーばかり消費する駄目ボクサーの試合のような稽古が続きます。打たれることが強くなる秘訣なのでしょう。演出家はあまり助けてくれません。少しは滑らかな流れになると、再び次の隠し台本が手渡されました。実はこれが、本物の台本なのでした。

二枚の合わせ鏡の真中でめまいを感じていると、もう初日です。

オル

会員の皆様へ

●今年はずらフレットを数多く出しますと云いながらも、やはり御無沙汰してしまいました。申し訳ありません。現在稽古場では、日米稽古と共に新人達の為の基礎稽古が毎日熱っぽく行なわれていきます。

●前号でお知らせしました「仔象は死んだ」の映像作品は、「ダム・ウェイター」の再演と併せて、秋頃に御見せできるように心掛けております。

●外部出演——7/26・紀伊国屋ホール公演「生きて—サイバイバル」(渡辺浩子演出)に当スタジオの佐藤正文・加藤齊孝・沢井正延・垂木勉・寺田純子が参加します。尚スタジオ会員の方には割引があります。詳細は、TOM企画(〇三一九五一八—六〇)まで。

●改名——メンバーの金学隆がこの度「奈木隆」と改名しました。今後ともよろしく!

オル

『文章読本』論

(9)

丸谷才一

岩田英哉

9. 1977・昭和52年：丸谷才一（52歳）大正生

丸谷才一の文章読本は、私の指摘した事実と疑問によつて始まる。

「第一章 小説家と日本語」と題した章の冒頭で（但し菊池寛と伊藤整の名前が抜けてゐる）、谷崎以下川端・三島・中村の三名の文章読本の書き手の名前を列挙したあとで、自分を入れて「すなはちわづか半世紀にも満たないうちに、文章の書き方、味はひ方の手引が五人の小説家によつて作られるわけだが、考へてみればこれはずいぶん異様な文学史的現象ではないか。こんなことは明治大正にはなかつた。維新以前にはなほさらなかつた。とすれば、これら一連の『文章読本』は昭和文学の一特徴と見て差支へないものなのである。後世の文学史家は案外この五十年間を要約して、小説家が文章入門をものするかたはら小説を書いた時代とするかもしれない。」

丸谷才一の疑問は、反対方向からの疑問として続ける疑問で事情は尚一層明らかになる。「これを逆に言へば、わたしの知る限り代表的な詩人や劇作家や批評家がこの手の仕事をしなかつたのはなぜだらうか。」

更に、私が何故作家が文章読本を著したかの理由として、ここまで整理したところでは、二つの理由と目的があり、

- (1) 一つは日本語の語彙の選別と選択の問題
- (2) 二つは日本語の様式・style・文体の確立の問題

これら二つの問題の解決の提案なのであり、後者（2）については、

(2.1) 時代と作家の人生の転機にある場合に此れを問題としたこと、それは何故かといふと、

(2.2) 作家自身の文章と生活実感との間に乖離を感じたといふこと、要するに作家自身が虚構の散文家として現実的な事実を写してゐないといふ自覚によ

るものだといふこと

この二つに整理をして来たのですが、丸谷才一の文章読本の冒頭の此の作家自身による結論は、これまで書いて整理をして来たところに一致してゐるので、これが丸谷才一自身の此の文章読本の持つ書かれた動機であり目的であると、さういつて良いのです。

丸谷才一の文章読本論では、私の取り上げた菊池寛と伊藤整を知つてみながら論ずる対象としなかつた理由に、次の二つを挙げてゐる。かういふ考証の細かなところが、如何にも此の作家らしい。

- (1) 「昭和十二年の菊池寛の本は代作だし、同年の里見淳の本は子供のためのものだから、ここでは考慮に入れない。そして」、
- (2) 「昭和二十九年の伊藤整の本は編者だから、これも除くことにする。」
- (3) 「ただし明治三十九年、田山花袋は『美文作法』を出した。」

といふ（以上中公文庫版『文章読本』1ページ註釈）、これは方針で、即ちあくまで小説家が自ら筆を執つた文章読本であり且つ名前が文章読本である著作をのみ論ずる対象とするといふのが、この作家の方針です。但し「川端康成の『新文章読本』は代作と言はれてゐる。」と註釈に書いてゐる。しかし私にはさうは見えない。菊池寛の本もさうは見えない。さて、さうして、私が最初に文章読本を著した谷崎の読本を「記念碑的労作」と表現したところを、丸谷才一は「谷崎の『文章読本』は依然として偉大である」と述べた上で、丸谷は次のやうに、私が上記（2.1）及び（2.2）でまとめて来たことを、自分のやはり文章読本論の感想として次のやうに述べてゐる。

「つまり『文章読本』は彼の文体の変革を記念する本であつたが、重大なのは、谷崎自身の文体の危機がまた現代日本語の危機と重なり合つてゐたといふ形勢である。彼のやうな代表的な文学者が文体のことであれほど根本的に悩む以上、一時代の文学的・言語的状况を背負つてに決つてゐる、と言へばそれまでのことだけれど、とにかく『文章読本』にはさういふ柄の大きさ、運命的な風格があつた。平野謙の重視する昭和十年前後といふ文学史的転換期を、文体論のほうからよく表現してゐるのはこの本であらうし、おそらくこの本以外にはないにそういない。」

これは谷崎の読本に対する評であるが、これは其のまま其の後今までみてきた文章読本すべてに共通する昭和の日本語の文体論の持つ性格だといつて良い。要するに、上記(2.1)と(2.2)の問題が、昭和の作家たちの解決必至の問題であつた。とすれば、令和の今も尚、この問題が生きてゐる筈です。さうして、この問題が此のまま、文学史にいふ「純文学」の作家と通俗文学の作家とを分ける境界線になつてゐる。前者の作家は、日本語の文体・style・様式の創造に力を尽くして生きた作家たちなのであり、これに対して後者の作家は大衆を対象にして娯楽としての小説を書いた。このどちらが良いとか悪いとか、優れてゐるとか劣つてゐるとかといふ議論は意味をなさぬことは、菊池寛の文章読本論で小林秀雄の菊池寛論の一節を引用して述べた通り。私たち読者にはどちらも必要です。

さて、明治の『小説神髓』から小説家が専門家として小説を世に提供し始めて、上記(2.2)の問題が発生したことを、丸谷才一も指摘してゐる。丸谷才一の書き方では次のやうになる。

谷崎の文章読本の出た「昭和十年は一九三五年である。いはゆる口語文の成立は明治中期のことゆゑ、以来ほぼ四十年が経つてゐたわけだ。この年月によつて口語文がいちおう完成したとは言へるかもしれない。かつての粗悪な、そして能力の乏しい新文体は、今、たいていのことは何とか書ける文体になつてゐた。」しかし、その代償として「その反面、明治大正のころの口語体がまだ漂はせてゐた文語体の名残りがすつかり失せ、あるいは骨格の弱い、あるいは風情のない、文体に變つたこともまた事実なのである。」この後者の反面の文体の例とそれ以前の例の大きな対比として「さういふ状況を最もよく示すのは、新感覚派とプロレタリア文学」の後を受けて登場した「いはゆる昭和十年代作家の文章」と、「大正時代の文学の生き残りである」「殊に谷崎その人と佐藤春夫の文章」との「極端な対比に他ならない」と述べてゐる。

このやうな大正から昭和にかけて生じた文章上の極端な違ひの時代的背景を、これも次のやうに述べてゐて、この説明は文章読本といふ本の性格と何故小説家が此れを書かねばならなかつたかといふ優れた説明になつてゐる。何故なら、建築様式を思つて見ればよく解るやうに、様式・styleの問題は、そのまま言語と文学にあつてもstyle・文体の問題なのであり、これは時代および時代を超えて此れを含む文明の問題だからです。この引用で、あなたには何故日本語による文体の創造と確立が重要かを、この谷崎の例に留まらずに、もつと一般化して理解をしてもらひたい。

「このやうな文学史的事情の背景としては、三代にわたる西洋文明摂取によつて社会が変り、日本語の語彙が改まり、語法が乱れつづけたといふ急激な移り変わり、常に普請中であり常に熟成を許さないわれわれの現代文明の基本的な性格があつた。関東大震災ののち十年以上の歳月が流れて徳川時代の遺風がまったく消え失せ、さらに世界恐慌がわれわれの社会の安定をゆすぶつて、文明の飽和点に達した（と彼が感じた）とき、谷崎は二つの批判——文明論における『陰翳礼讃』と文体論における『文章読本』を書いたのである。それはいづれも、浅はかな欧化主義がもたらした俗悪なもの、没趣味なものへの非難と攻撃、一種の反近代主義の提唱を主題としてゐた。」（傍線引用者）

この引用の傍線部は、どの文章読本も持つてゐる文章読本の性格であると、たとへ二十世紀に小説家が文章読本を著すとしても、考へて良い本の性格です。この同じことを、私たちは明治以来、文明論と思想の視点から「近代の超克」と呼んで来たことが、殊に昭和17年・西暦1942年の『文学界』誌上での座談会以来さうであることは、文章読本を論ずることで、明らかになりました。これを森鷗外は普請中と呼んだし、この普請中の音は太宰治のトカトンといふ先の戦争後の普請の音を経て、今も続いてゐる。しかし、この近代国家日本の国の家の普請は先の世界大戦で破壊されてしまつた以上は、このあとの方途は、一つは再度同じ様式の家を建て直すことか（明治時代に戻る）、もう一つは全部壊してもう一度別の（明治以前のいずれかの時代に戻る）、日本の土台にあつた家を建設するか（これがどの時代の様式を選ぶかといふ問題）のいずれかの選択といふことになる。

これで、考察が此処まで進みますと、この「日本の土台にあつた家を建設するか」といふ問題は、「これがどの時代の様式を選ぶかといふ問題」と同じ問題であることがわかつたので、これがそのまま、中村真一郎の章で此の作家の垂直軸を立てて生まれた座標の〔（口語、文語）、（論理、感情）、調子（和文、漢文）〕のいずれの組み合わせの道を作家が選択して進むかといふ問題であることが非常に明確になりました。

これは、しかし、単にこれらを組み合わせれば良いといふ簡単な問題ではないことはいふまでもありません。小説家が此れを成し遂げるには、作家としての強い意志と忍耐力と、それに時代が小説家に授ける僥倖が必要です。山本周五郎は、同じことを運・鈍・根といつた。この「時代が小説家に授ける僥倖」とは、政治と経済の成功と、これと軌を一にする文化の成熟といふ事になります。これはインスタント・ラーメンみたいにお湯をかけて三分待てば出来上がるといふものではないので、時間が、といふことは忍耐を必要とします。本題

に戻ります。

さうして、ここで丸谷才一の持ち出す分類が、和文脈と欧文脈といふ分類なのです。前の章で得た「中村真一郎の口語文体論をZ軸に入れた日本語文体論の座標」（以後「日本語文体論の座標」と呼ぶことにします）に更に、もう次元を加へるといふことになつて、これで如何に私たちの日本語が複雑な文脈の中にあるかがお分かりでせう。整理すると、私たちの日本語の文脈は、

- (1) 和文調（谷崎の定義の通り）
- (2) 漢文調（谷崎の定義の通り）
- (3) 欧文脈（丸谷才一の定義の通り）

これらを、私たちは和漢洋と呼んできた。再度振返ると、

和文調の定義（谷崎による）

「和文調といふのは、実は往古体の口語体のことでありまして、土佐日記や源氏物語のやうな文体、あれはその当時においては口でしやべつた通り書いたものであつた。」（谷崎の『文章読本』「一 文章とは何か」の「○ 現代文と古典文」）

漢文調の定義（谷崎による）

漢文調といふのは、保元物語や平治物語等の軍記物から用ゐられ始めた文体で、在来の和文に漢語を交へ、また漢文を日本流に読み下す時の特別な言ひ廻しを交へたものであります。」（同上）

欧文脈の定義（丸谷才一の定義）

欧文脈とは、近世ヨーロッパの文化から生まれた文物を日本語に翻訳するに当たつて漢語を使つて翻訳した和訳語からなる文章である。（丸谷才一の『文章読本』「第一章 小説家と日本語」および「第十二章 現代文の条件」の記述から論者が抽出してまとめた定義）

[補足説明]

- (1) 近世ヨーロッパを15世紀以降現在までの時代とする。
- (2) 欧米後の和訳語は「つまりわれわれの使ふちよつと四角四面な言葉」であり、これらの言葉は「みな生活感覚の裏打ちを欠いてゐる」言葉である（同書第十二章、287ページ）。従ひ、「これでは文章が現実から遊離しがちな

のは、当たり前で、かうなれば、その文章の述べる理屈が空転し、論理性を失ひがちなのは、ほとんど必然の結果だらう。われわれがものを考へることができるのは、常に、現実的な生活と関連のある場所においてなのである。」（同書第十二章、287ページ）

丸谷才一は、この欧文脈の文章、即ちヨーロッパの言語から漢語に翻訳されて私たちの使ふ日本語が、私たちがものを考へる時に、論理性を失ふ原因だといつてゐる。丸谷は、認識、観念、思想、アイデアを挙げてゐる。とすると、ここで欧文脈の語彙の中にカタカナ語を入れることになります。即ち、欧米言語からの翻訳語としての漢語の日本語と欧米語の音だけを写したカタカナ語によつては論理的な思考を私たちは和漢混淆文を書くときに容易には出来ないといふことです。これが、私たちが文章を書く時に最も気をつけねばならないことである。丸谷才一の理解する谷崎のいふ和文調と漢文調については、その理解に谷崎の理解と異同はないので（「第五章 新しい和漢混淆文」95ページ）、この谷崎の用語を生かしたまま和漢混淆文といふ概念を丸谷才一の言葉によつて以下のやうに定義することができる。「和文ふう」とは谷崎の云ふ和文調、「漢文訓読口調」とは同じく漢文調のことです。

和漢混淆文の定義（丸谷才一の定義）

和漢混淆文とは、「和文ふうと漢文訓読口調とまぜあはせた文語体のことで、この概念の中心部に來るものは『平家物語』や『太平記』などの戦記もの」であるが、この言葉の意味（外延）を敷衍してみれば、「平安末期以降、明治中葉の口語文発明に至るまで、日本語の文章はほとんどすべて（つまり漢文と雅文を除けば）これによつて書かれた」文章である。漢字まじり仮名がきで書く以上、もはやこの文体の埒外へ出ることは至難の業だつたのである。（同書「第五章 新しい和漢混淆文」95ページ）

丸谷才一の文章読本の特徴は、ご本人が英文学（文字通りのイギリス文学）に通じてゐて、ジェイムス・ジョイスの翻訳者でもあることから、上記（3）の欧文脈に一章を立てて詳細に論じてゐるところです（第九章 文体とレトリック）および「第十一章 現代文の条件」。それから二つ目は、やはりこの作家らしく日本の古典に精通してゐるので、平安朝の文学の引用（例：伊勢物語）をして、あるべき現代の文章を論じてゐるところです。

ここで此の文章読本の目次を眺めてみませう。赤字はこれまでの文章読本の作者と同じ項目。青字は、この作者特有の、いはば小説家特有の、テクニクといふのは言い過ぎですが、言葉を相手とする専門家としての微妙な、一種の趣

味と作文上の触り・機微を述べてゐる項目。これについては、中村真一郎とは執筆の考えへ方が正反対で、「批評の原則から言つても、趣味をぬきにした主張などあり得ないのである」といふ立場ですから、青字の章は、この立場を反映したものです。それ以外の黒字は、私たちが日本語を日常書く場合の、正面からの論、正論を主題として文章と文体を論じてゐる。

- 第一章 小説家と日本語
- 第二章 名文を読め
- 第三章 ちょつと気取つて書け
- 第四章 達意といふこと
- 第五章 新しい和漢混淆文
- 第六章 言葉の綾
- 第七章 言葉のゆかり
- 第八章 イメージと論理
- 第九章 文体とレトリック
- 第十章 結構と脈絡
- 第十一章 目と耳と頭に訴へる
- 第十二章 現代文の条件

上記の章のうち、これまでは第一章のみに此の作家の結論がありますので、この章の内容だけを論じて来ましたが、赤字と青字を除いた章のうち、最後の「第十二章 現代文の条件」に目を通して、この作家の現代文に対する考へをみて、私たちの作文の参考にすることにします。

しかし、最後の此の章に至つて中身を読んでみると、文章と論理といふ視点から、実はこれはインテリゲンチャ向けの処方箋になつてはゐるが、普通の庶民の、日常で作文するときの要領にはなつてゐない。何故なら、語彙の面からみると、欧文脈を書くための語彙がやはり威勢をふるつてゐる現代文ですから、外国語を一つは勉強して自分のものにせよといふのが、この作者の提案だからです。確かに「批評の原則から言つても、趣味をぬきにした主張などあり得ないのである」といふ立場で書かれてゐる文章読本ですから、読者から異論はないものの、やはり庶民の実践には難がある。はつきり言つてしまへば、あなたの文章が論理性を得るために一つでいいので外国語を修得しなさいといつてゐるのです。林達夫の文章を例にとつて褒めてゐるので、そこを引いて作者のいはむとするところを理解してほしい。何故作者がこんなことを主張するかといふと、様式・文体論は文明論であるといつた通りで、「言ふまでもないことだ

が、現代日本人が相手取らなければならないのは、和漢の融合によつて成立したかつての文明と、西洋近代の文明との複合体である。前者は江戸後期にほぼ完成したが、明治維新の結果、後者が闖入して途方もない混乱が生じたことは、まさかここで詳しく説明する必要はなからう。」といふほどに「後者の闖入」が甚だしいからです。

「たとへば林達夫があれほどの文章を書けるのは彼の語学力と切つても切れない関係があるといふことを、わたしはやはり言つておかなければならない。ある程度、西洋の文章に親しめば、日本語で書くときにもおのづから思考が生活から離れたものでなくなり、つまり論理的な文章を書くやうになる……はずなのである。さうは問屋がおろさない場合も、もちろんあるにしても。」

ここで丸谷才一のいつてゐることは正しく、私のいつもの言ひ方であれば、sein・ザインもdasein・ダーザインもドイツの熊公八公の言葉だといふのと同じです。かういへば、どんなに漢語による翻訳語の安易な使用は禁物か、その原語にもどつて概念の吟味をすることが用語選択の前に要するかが解るでせう。しかし、こんなことは忙しい我が身にはいちいちやつてゐられるかといふのが実情でありませう。さうであるならば一体どうしたら良いものか。

私の日本語と論理性に関する結論は簡単で、これは二十代の前半に集中的に考へた結論ですが、日本語で論理的に考へれば文章は論理的になり、論理的に考へなければ日本語の文章は論理的にはならないといふものです。それでは、次の問は言葉が（日本語が、でも良い）論理的であるとはどういふことか、論理的に考へるとはどういふことかといふ問です。しかし、これは机上の論です（決して悪い意味でいふのではない）。さうであるならば一体どうしたら良いものか。私の結論は、あなたが言ひたい通りに書いては如何か。といふものです。要するに、「日本語文体論の座標」にある象限Iと垂直軸の上昇方向の極端「考へること」で書くといふことです。下降方向の軸の極端「感じること」に向かふと、あなたの書く文章は論理性を欠いて感情的になる。

さて、文体論が文明論であると文字で明記したのは、丸谷才一の文章読本が初めてである。これまでの文章読本ももちろん同じ主題を論じてゐるわけですが、この問題を明確にしたことが、この文章読本の優れたところです。この文体論は文明論であるといふことに関連して最後の章から幾つか優れた考察を引用として締めくくりとしたい。

引用 1 :

「われわれが失った最大のものは、古典主義とでも名づけるしかない何かで、これはおほよそのところ伝統性と趣味性によつて成立つと言つてよい。この伝統性と趣味性は文章にとつて極めて重要である。過去から伝はつて来た遺産であり、選び抜かれ使ひ込まれた道具であるもの、つまりレトリックをしりぞけて、現在の言葉だけで語らうとすると、われわれの世界はたちまち浅くなり、衰へるからだ。そしてこの一世紀の日本は、伝統の否定をはなはだ大がかりに実験したのである。それはほとんど、世界に冠たるくらゐの新しがり方だつたらう。しかも具合の悪いことに、ものを語り、ものを書くに当つて、型なしですませることなど、実は不可能なのだ。」

この型の問題を三島由紀夫が安部公房との対談『二十世紀の文学』で語つてゐることは、三島由紀夫の章で話した通りです。三島由紀夫は浄瑠璃や泉鏡花に言及して言葉の連想作用の豊饒を発言してゐたことを思ひ出して下さい。江戸時代からの連続した文学の世界です。従ひ、三島由紀夫の文学の座標上の位置は、象限Iから象限IVへと向かふ反時代的な努力なのでした。これに対して、安部公房の努力は象限Iから垂直方向に上昇して論理を求めた努力、といふよりはそれはさうであるわけですが、下降の方向の通俗的に「感じること」を嫌つた努力（例：富士山に桜）だといへます。

引用 2 :

「すなはち口語文が貧弱なのは現代日本文明が劣悪なことの結果である。それは断言して差支へない。しかし、だからと言つて、当面われわれの文章の水準はどうあがいても今の程度以上にはゆかないなんで諦める必要は毫もない。文章と文明の関係はもつと相関的なもので、なるほど前者は後者によつて根本的に規定されてゐるけれど、一方、後者は前者から多大の影響を受ける。文体が文明を動かす事態もまたあり得るのだ。いや、古来すぐれた文体は常に文明に対して激しく作用して来た。口語文の未熟はたしかにわれわれの生き方の反映にはちがひないが、しかし、口語文を成熟させることはわれわれの生き方を豊かなものに改めてくれるはずである。文章が人間の精神の最も基本的な表現である以上、さういふ期待と信頼を寄せることは十分に正しいだらう。（略）しかしわれわれの文章の規範は、ちよいと隣りへ行つて借りて来るなんてものではない。過去から学び取るにしても、それは常に自分自身を経過しない限り、手本には決してなり得ない。すなはち新しい文章の型は、われわれが自分の力で作るしかない。文明全体、社会全体の力で作るしかない。すくなくとも、さういふ地盤が与へられてゐない限り、玄人の藝は一般の財産となること

ができないだらう。こんな当たり前のことをついうっかり忘れてみたところに、おそらく、現代日本の文章の最も悲劇的な条件があつた。」

引用3：

「肝心なのは、現代日本の文章が、われわれの現実——いつさう複雑なものになつたこの新しい現実に、対応するだけの機能を備へてゐないといふことなのだ。これに立ち向ふだけのものをもし創造できないならば、それはすなはちわれわれの敗北を意味するわけなのに。すなはちわれわれは玄人とか素人とかいふ区別なしに、口語文の完成のため營々として努力しなければならない。」

最後の章の最後に、上記に私が「あなたが言ひたい通りに書いては如何か」と提案した私の結論と同じ結論を、丸谷才一は石川淳の名文（本当にいい文章です）を引用して、そのあとで自分の言葉で次のやうに述べてゐる。これは全くその通りです。

「石川がここで語つてゐるのは、書くに値する内容がなければ字を書き書いてはいけないといふことである。この教訓は、文章においてさらによく当てはまるだらう。すなはち、記すに値することがあつてはじめて筆をとれ。書くべきこと、語るべきことがあるとき、言葉は力強く流れるだらう。これこそは人間の精神と文章との極めて自然な関係にほかならない。」

極めて当たり前のことを結論としてゐる。しかし、私たちは此の平凡な人間であることの真理を常に忘れる。さうして饒舌になり大声を出す。やはりあなたの文章に、従ひ人生にとつて大切なことは、沈黙なのではないか？私がかういふ言語の本質について考へる時にいつも思ふのは、イエス・キリストも釈迦もある時期に孤独に徹して荒野の中に、あるいは森の中に歩み行つて、人の世を離れたといふことである。きつと老子にも莊子にもまた孔子にもさういふ時間が人知れずあつたに違ひないとさう思ふのである。あなたにだつてあるだらう。

近頃都に流行るもの、YouTubeの動画のあのお喋りはもはや聞くに堪えないのは、「日本語文体論の座標」の座標の「口語体 [放漫・しまりが無い・弛緩]」に走るのみで、限度もなく、従ひ節度もない、確かに中村真一郎のいふ通りのしまりのないお喋りで、これが口語体だとして、そこから「口語文を成熟させることはわれわれの生き方を豊かなものに改めてくれるはずである」といふ思ひも努力も、また「文体が文明を動かす事態もまたあり得るのだ」といふ認識と自覚もないからである。

欧米の俗にいふYouTuberと呼ばれる話者 (speaker) の優れたものは、話者が淀みなく整然と、しかし平俗な言葉を使つても話 (speech) になつてゐるのは、恐らく本人の努力あるのみならず、国語教育による訓練の成果ではないかと察する。要するに、

- (1) 話すことがないなら、黙れ
- (2) 書くことがないなら、書くな

といふことである。即ち、

- (3) (人前で) 話すなら、書くやうに話せ
- (4) 書くなら、(整然と) 話すやうに書け

これが、この章の私の結論といふことになります。

このやうに日々の生きる姿勢が、明日の日本語の文体の創造に生きることを私は切に祈つてゐます。もちろん、この努力に玄人と素人の区別は一切ない。何故なら、それは各人が自分に固有の人生を一度だけ生きるための生活上の真剣な工夫によることだからです。

10。1987・昭和62年：井上ひさし（53歳）昭和生

(続く)

Mole Hole Letter (68)

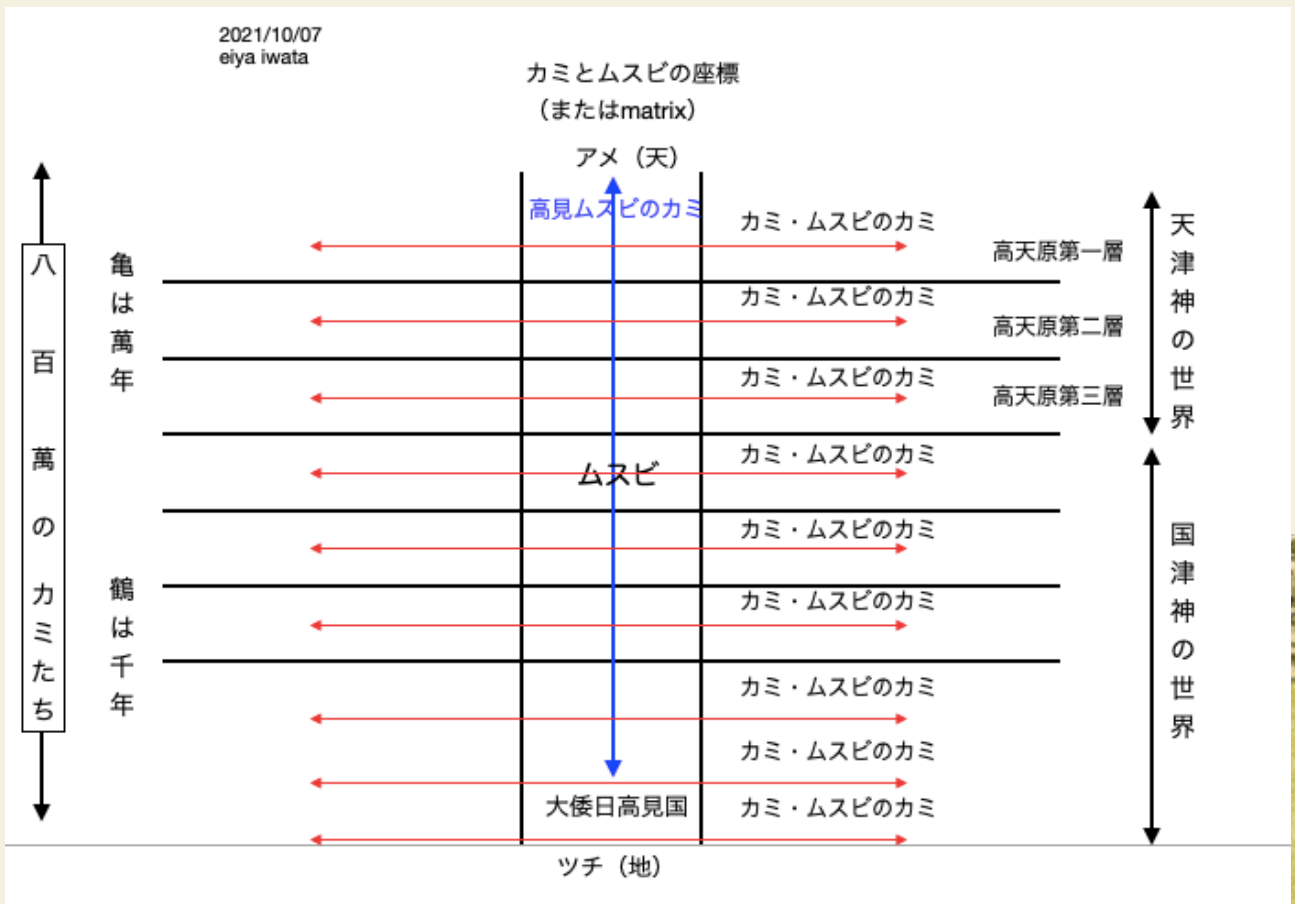
超越論 II (第十一回)

岩田英哉

ムスビのカミとは何か

このコト・タマを再度トーマス・マンの（私のといつても既に良いが）光の円錐形の内部に戻してやるとどうなるか。そして、その次に、上掲図2のマトリクスの意味を更に説明します。時間と空間とコト・タマとタマの話です。即ち、私たち日本民族は、世界をマトリクス・matrixで観てゐるのだといふ話です。

高天原の第一層の最初の三柱のカミのうちの二つ、即ち高見ムスビのカミとカミ・ムスビのカミの関係について説明します。私たちは世界をマトリクス、即ち座標で観てゐるといふことの説明です。この説明は、そのまま古事記冒頭の天地初発のコトだと、あなたには此の格子の世界をみればお解りになる筈です。ダウンロードは：<https://docdro.id/ipIFj2r>



安部公房が存在の十字路または存在の交差点と呼んだ場所にあるのがムスビです。この結びは、高見をするスメラ・ミコトの仰ぎ見る天の原、即ち高・天原とスメラ・ミコトの代表する大倭日高見国を垂直方向に接続する。天地の間といふ垂直方向に時間は存在してゐない。何故なら、それは高さだからです。高さに時間は、無い。これをオシロスコープの波形の合成を以て視覚的にあとの方で示したい。

さて、垂直方向のムスビに対して、カミ・ムスビのカミは、高・天原にも国津神の世界にも両方に、水平方向にそれぞれの階層のカミを接続する働き（機能・function）と其の過程（process）、または働きの結果（entity）の此の三つの働きを持つてゐます。そして、この三つ働きを一言で、ムスビ、と私たちは呼んでゐる。整理すると、

コト・タマによるムスビのカミの働きは次の三つの意味がある。

- (1) 働き：機能・function・函数・役割分担
- (2) 働き方：過程・プロセス・process・処理
- (3) 働きの結果：結果値・積算値・entity

水平方向の複数のカミは、みな同じ質・qualityを持つてこれだけの階層にこれだけの数が、それこそ八百萬にあるわけですから、実は水平のカミガミといふだけではなく、階層を亘（わた）つて垂直方向にも働いてゐると考へてもよく、従ひ、この水平方向にあるカミガミの性質がそのまま垂直方向の高見・結びのカミと同じだといふことになります。これが何故私たちは垂直階層と水平階層の等価交換が楽々できるのかといふことの根本的な説明です。かういふことの交差点に、ムスビが生まれる。これが二柱のムスビのカミの働きの結果（entity）としての積算値である。そして、

神道に云ふ中今は、このムスビに存在してゐる。または、このムスビの生まれる交差点にあなたのあるコトを中今と呼ぶ。これは既述の通り、中今とは、あなたの認識と、それによつて生まれるムスビといふ存在の話です。

これを資本主義の核心である市場・マーケットの値動きに対して、一体江戸時代の18世紀に、日本の相場師がどのやうに成熟した資本主義体制の中で、この中今といふ神道の概念を視覚的に表現して、山形県の酒田、大阪、そして江戸の市場で米の先物の信用取引をしたかの説明を以て、中今に関するあなたの理解に供したい。即ち、此处で理解をして欲しいのは、金の儲け方や相場での

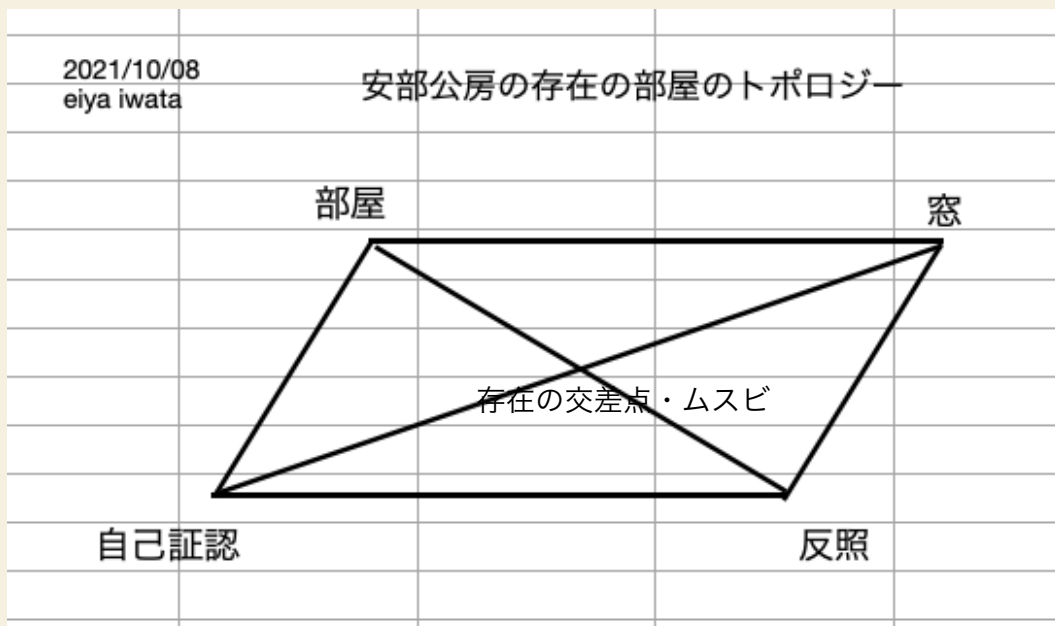
勝ち方ではなく、私たちがいつも動きの激しい世界を一体どのやうに観てゐるのかといふ問を問ふ場合に、いつも此の中今といふ概念、即ちムスピを主軸にして観てゐるのだといふことを理解してもらひたいのです。即ち、

ムスピである中今といふ時間単位概念を主軸にして世の中を観ることは、恰もマトリクスで格子戸の格子から外界をみる如きものだといふことを理解してほしい。安部公房ならば、この一つの格子の単位を窓といったことは既述の通り。格子窓と交差点を呼んでも良い。さう、格子窓と呼ぶならば、格子戸の門（トを通じて、即ち格子のト（門）を通じて、私たちは世界を観てゐると言ひ換へてもよい。ちなみに、初期安部公房の語彙で安部公房のトポロジーを表すと次のやうになるのでした。語彙は四つで、部屋・窓・反照・自己証認です。この交差点または交差点の空間・通路・凹は、他方、少し後には、遅くとも処女作『終りし道の標べに』が書かれるまでの間には、存在と呼ばれて十二分に概念化されて、最後の『カンガルー・ノート』および遺作に至るまでの、終生の安部公房の作品の礎石となつてゐる〔註1〕。安部公房のムスピと変形の接続関係即ちトポロジーを以下に掲げます。

〔註1〕

安部公房の存在の部屋の窓については、次の論考があります。

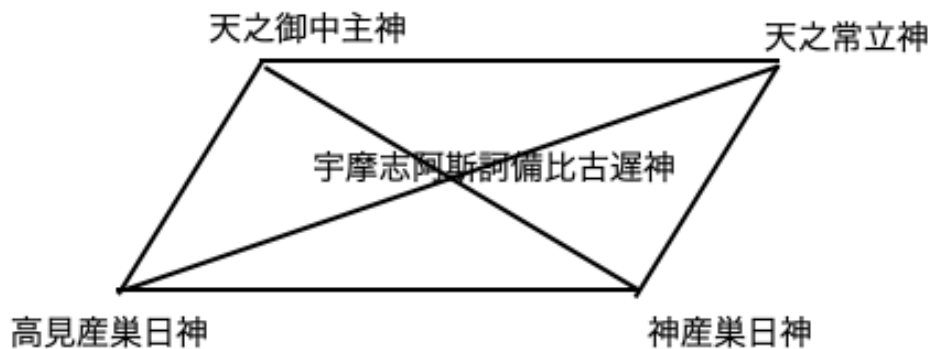
- (1) 『もぐら感覚5：窓』（もぐら通信第3号）
- (2) 『安部公房の奉天の窓の暗号を解説する』（もぐら通信第33号）
- (3) 『カンガルー・ノート』論（もぐら通信第68号）



これらの四つの概念は言語機能論上等価交換可能なので、どれがどの四隅の位置にゐてもよい。同様に、古事記の天地初発の姿は下記の通りなのでした。最初に高天原0の三角形が天御中主神・高見ムスビのカミ・カミ結びのカミの順に超越論的に、本居宣長の云ふ通りに、因果律ではなく時間と無関係に現れまたは成り、次に宇摩志阿斯訶備比古遲神（うましあしかびひこぢのかみ）が交差点に現れ（これも無時間の存在であり交差点）、そして（且つと云ふべきか）、天之常立神が五つ目のカミとして立つ。

2021/10/08
eiya iwata

天地初発のトポロジー



四辺形の櫛がけの交差点は、安部公房の存在の部屋のトポロジーと同じで存在であるので、宇摩志阿斯訶備比古遲神は存在として此处に出現したといふことになる。交差点といふことから、この存在は媒体・メディウムなのであり、従ひ最初の三柱の高天原0の神の媒体または媒介者となつて、天之常立神が現れることができる。本居宣長の正しくいふ、これらの神々の出現に時間は無関係だといふ理解は、西洋哲学用語（の翻訳語）を用ひて説明すると此の通りになる。そして、銘記すべきは、この宇摩志阿斯訶備比古遲神は媒体として垂直方向のムスビ、即ち高天原第一層と第二層の上位接続（conjunction）の働きをしてゐるカミだといふことです。これで、「カミとムスビの座標」のマトリクスの意味がよく理解できるでせう。さうして、第二層・第三層の更に下の未だ形定まらぬ地（つち）と海（あま）の混淆状態の中から立ち昇る。

以上の全体が、私たち日本民族の、Japanese Peopleの汎神論的存在論または縄文哲学または縄文形而上学または鶴亀哲学、あるいは神道哲学または神道形而上学の認識論と存在論に関する基本です。まあ、理解をしたら、あなたの好きな名前と呼んでください。これが私たちの世界です。著作権も知的財産もへつたくれもない。常識だといふことです。まあ、アメリカ人の知的財産法律用語でいふなら、public domainとでもいふのでありませう。しかし、私たちの此の論理は法律の世界を遙かに超えて、私たちの、日本語による法律思想の根

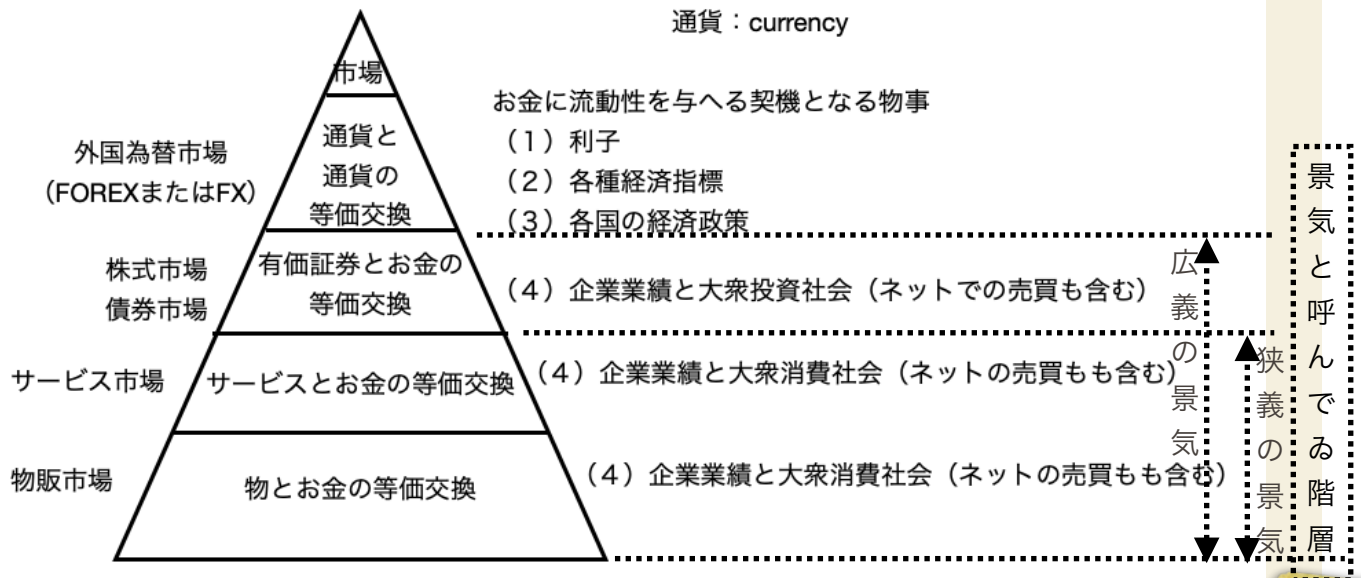
本を本来はなしてゐるべきものです。日本語によつて書かれる法文は此の哲学的基礎の上に書かれなければならない。翻訳語の法律体系では、私たちの生活は脅かされることはあつても、安全になることはない。生活の中に意味を持たないからです。ドイツ語でSein・ザインもDasein・ダーザインも、ドイツの庶民の日常用語だといふ事実を想ひ出してもらひたい。存在で、私たちは生活できるか？否。しかし、ムスビならば生活できるのである。毎日思考論理の上でも、実際の手を動かす作業にあつても、さうしてゐるからです。上掲した一箇所で結ばれて存在となつてゐる扇の美しさを想ひだしてほしい。滄（あを）の色とともにムスビは、私たちの美意識の根幹をなしてゐる。日本語は美しい。

さて、これらのことを基礎にして最前申し上げた資本主義の核心である市場・マーケットの値動きに対して、一体江戸時代の18世紀に、日本の相場師がどのやうに成熟した資本主義体制の中で、この中今といふ神道の概念を視覚的に表現して、山形県の酒田、大阪、そして江戸の市場で米の先物の信用取引をしたかの説明をしたい。そこで先づ今の資本主義の構造を以下に掲げるので、これを見てください。

2021/10/07
eiyu iwata

資本主義の階層図

貨幣：money
通貨：currency



今私がこれから説明しようとするのは、この階層図の実質的に最上位の「通貨と通貨の等価交換」の階層の話です。更にもう一階層を頂点に設けてゐるのは、これから資本主義がどのやうに変形し変貌するかの予測がつかないからで、100年後のあなたには全体が明らかになつてゐる筈ですが、今は市場Xと呼んでおきます。

(続く)

縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く (25)

5.18 紫式部の超越論『源氏物語』

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo: 何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか?

2. 日本語の音義と概念の関係: 五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2: 海風之大刀 (アマナギ・ノ・タチ) は一体どんな姿をしてみるのが

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまところどこで何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能碁呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段: 高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段: 大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段: 大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2



青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

- 5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか
- 5.17 いほりとは何か
- 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか
- 5.19 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史
- 5.20 日本人はどこから来たか

5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか

『堤中納言物語』の中の「蟲めづる姫君」といふ話の中で、この「蟲めづる姫君」と呼ばれる今でもゐるやうな一寸普通のをなごではない処女（をとめ）の話があります。虫ばかりが好きで虫の収集をすることを趣味にしてゐて、これも竹取物語の主人公によく似てゐますが、言ひ寄る男どもを袖にするのである。カクヤ姫はカカヤクやうに美しいが、この姫君は髪も梳（くしけづ）ることなく、お齒黒もせず眉も抜かずにそのままにして、よほどの物好きでなければ言ひ寄つて来ないのである。しかし、この姫君にはきちんとした哲学があつて、それは人の事も世の中も物事もみな蝶々が見苦しいカイコから脱皮して美しい蝶々になるが如く「萬（よろず）の事、本（もと）を尋ねて、末を見ればこそ事はゆゑあれ。いとをさなき事なり。かはむしの蝶となるなり。」といふ哲学なのです。世の大人たちはみな蝶よ花よと目先の美しいものばかりに目をやつて浮かれてゐるが、さうではない。それは末のことである、本を尋ねれば生き物は皆見苦しきもの醜いものではないか。その脱皮、変態にこそ物事の妙味があるのだ。といふ主張です。さうして、この小さな物語り自体が此の姫君の脱皮の物語りとなつて、そのまま次の物語りに続くといふ意味で「二の巻にあるべし。」で終はり、次の美しい姫に変態した後の話は「ほどほどの懸想」と云ふ題の話に繋がつてゐる。

さて、世のをのこどもにはこのやうな並外れたをなごに興味を示す物好きもゐるのは時代をとはず、ここに二人の男が登場します。一人は上達部（かんだちめ）の御子であり、もう一人は左馬助（さまのすけ）と云ふ男が友人の「中将といひ合はせて」庭に忍びこみ姫君の様子を伺ふところで、平安時代の大人になる前の性の未分化の娘が仮名と片仮名を使ひ分ける箇所と、それから男が漢字をやはり真名と呼んでゐる箇所の二箇所がそれぞれに出てくるのです。これが私の高校生時代に此の話を讀んで以来の疑問でしたが、こと此処に至つて氷解するのです。

姫君が偽の虫を製作して人を驚かせて悪戯をしたことに対して、「人々作りたる」と聞いて、「ひしからぬわざしける人かな」といひにくみ、「返事（かへりごと）せずはおぼつかなかりなむ」とて、いとこはくすくよかなる紙に書き給ふ。」と云ふ姫君が釈明の返事を書くことになる其のあとにくる次の文が、

引用1：上達部（かんだちめ）の御子の箇所

「假名はまだ書き給はざりければ、片假名（かたかな）に、
契（ちぎり）あらば極楽に行き逢はむまつはれにくし蟲の姿は福地の園に」とある。」

この文章から判ることは次のことです。

(1) 片假名（かたかな）と読んでみますので、これは既述の通り、カナ（假名）と云ふのは、カミの名と云ふ意味ではないのでせうか。それ故に片葉片葉で半分を隠して假（仮）の文字で暗号化して、即ちお祓ひをした。確かにカタカナの由来からしても漢字一文字の部分シルシとして取り出し、元の漢字にはば形代を残して、この部分に漢字一文字の全体を代表させてやまとことばの音だけを表現したものです。また、

(2) この片假名（かたかな）に対する平假名と今私たちの呼ぶカナを単に、假名とだけ読んで原文は対比を示してみますので、このカナと云ふ名前が《カ》の名、即ちカミの名だと云ふことの証明になります。ヒラ・カナもカタ・カナもともに、ヒラもカタも片であることは既述の通りであり、本来は一体となり裏表の関係にある片葉片葉で生まれた《カ》の名なのだと云ふことです。さうして、

(3) この姫君はまだヒメであり比賣でありますから、男を知らぬ処女（をとめ）であり、その能力を獲得するまではカタカナを使ひ、月満ちて初潮（はつしほ）を体現して初めてヒラカナを使ふと云ふ、二つの文字の使ひ分けが此処で明らかになつてゐると云ふことです。従ひ、平假名を女文字と云ふのは正しい。それでは、

(4) 片假名は男女いづれの手になる《カ》の名かといへば、やはりこれは、ことの成り行きからして、男が専ら漢字に習熟してゐたのに対して、漢字を變形させたのは女性であつて、女性の手になる文字ではないのでせうか。ですから、和漢混淆文の三つの文字の要素のうち二つは女性の手になるものであつて、男の独創は其処にはないと云ふことになります。

(5) 文字の問題とは、これも何度か繰り返して申し上げた通り、文明の問題であり文明論の問題ですから、他の文明にあつて女性が其の文明の文字を創造したことの明白な証拠が、「蟲めづる姫君」のやうにあるのであれば、一度見てみたいものです。それから、

(6) 性的に未分化の状態のヒトはニュートラルと云ふべきですから、これも既述の通り、高天原の第二層の神々と同格・同等の存在が、女性として生まれついた女の子なのであり、子供なのであると云ふことも判ります。子供、男の子の考察は別途の機会に譲るとして、高天原の第二層のカミに値する存在であると云ふことです。さうすると、それ故に、

(7) 神社に仕へるのは巫女であり処女であらねばならず、また大祓の第三段に登場する比賣と名前のある三柱のカミは巫女なのであり、其の名の示すがままに、高天原の第二層にゐる存在なのだといふこと、第二層の豊かな日本列島の自然の景観の中で此の高さにゐる存在たる比賣が第二段の罪穢れの列挙を受けて、大祓ひをするのだと云ふことが自然に理解できます。罪へがれの大祓は高天原の第二層の力を以てするのです。と云ふことは、更に、

(8) 高天原第二層の国之常立神と豊雲野神もまたお立ちになつてはすぐにお隠れになりますから、前者は富士山であることは既述の通りですから、やはり富士山は高天原に隠然と立つ、他の日本列島の中にある「とりよろふ群(む)ら山あれど」その山々の中から選りすぐられた《高天原》の中の《高天原》にある山だといふことになります。《ヤマ》と書く方が、ここまで来るとわかりやすいでせうか。あるいは《山》とも。要するに一言で平俗にいへば、富士山は高天原だといふことです。富士山は高天原に存在する山である。これが「蟲めづる姫君」の短編小説の証明せる富士山高天原説の次第です。

以上は、《カ》の名の話ですが、今度は左馬助(さまのすけ)の箇所です。

引用2：左馬助(さまのすけ)の箇所

庭で姫君と虫取りの指図を受けて虫取りをしてみた童に、茂みに隠れてみて近くに童子の来たところへ白い扇に文字を書いて姫に渡すように差し出すところです。

「白き扇(あふぎ)の、墨黒に眞名の手習ひしたるをさし出で、[引用者：落ちる蟲を]「これに拾ひ入れよ」とのたまへば、童取り出づる。」

この話では、この男のすなる漢字である眞名と、女文字であるカナの話が、ここで交差して、この場面の後に此の姫君のよく見れば美しい姫君だといふ蝶の脱皮がヒトのこととして示唆されており、その後に話は急に収束して上記に書いた「二の巻」に話が接続されるといふ話の筋道と二篇の部立てとなつてゐます。

おそらく、この二種類の文字の交差といふことは、当時の人にとっては性愛の交換を予期させるに十分なエロティックな効果を典雅に、つまりむくつけきやうにはなく間接的に、またそれ故に一層効果的に、働いたものと思ひます。これはこのまま源氏物語の紫の上の巻に通じてゐるといつてもよいでせう。あるいはまた其の逆に源氏物語が此の短編に通じてゐるといふこともよいでせう。和歌を文字でやりとりする男女の相聞歌は、今の私たちの思つてゐる以上に深いものがあるといふことが、これで判ります。これを文化と云ひ、もののあはれといふのではありませんか？

編集後記

- 巻頭詩（30）：孤独より 其の四：安部公房：この叙情もまた後年の小説に裏返しになつて生きてゐます。ご確認あれかし。
- 周辺飛行（54）：4。『安部公房スタジオ会員通信』（10）：第10号：これが最後の安部スタ通信です。次回からまた安部公房の文章に戻ります。最初にどんな構成にしたのか忘れてしまつたので、最初の回を読み返します。
- 『文章読本』論（9）：丸谷才一：ここまで文章読本を論じてくると、流石に近代の日本文学の全体が文体論といふ視点で非常に明確になりました。次回の井上ひさしもまた文章読本を書くだけあつた実によく文章を作品を読んでゐます。これもまた優れた文章読本です。
- *Mole Hole Letter*（68）：超越論 II（第十一回）：いよいよこれから私たちが時間と空間をどのやうに認識し存在してゐるかといふ事実論に入ります。乞ふ次回を。
- 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（25）：5.18「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか：これも長年の疑問の氷解した回でした。なんだか人生のまとめをしてゐるやうな気がしてくる。そろそろ私はあの世に往くのではないのだろうか。もう悔いはないので、なすべきことはなしました、いつお別れしても良いのであります。

差出人：

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町
「閉ざされた無限」

安部公房の広場

連絡先：eiya.iwata@gmail.com



【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。